

平成29年第2回竜王町議会定例会（第4号）

平成29年6月22日

午後1時00分開議

於 議 場

1 議 事 日 程

日程第 1 議第28号 平成29年度竜王町一般会計補正予算（第1号）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

日程第 2 議第31号 町道路線の認定について

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

日程第 3 議会広報特別委員会委員長報告

日程第 4 地域活性化特別委員会委員長報告

日程第 5 人口減少対策特別委員会委員長報告

日程第 6 所管事務調査報告

（議会運営委員会委員長報告）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

（教育民生常任委員会委員長報告）

日程第 7 議員派遣について

日程第 8 委員会の閉会中の継続調査の申出について

2 会議に出席した議員（12名）

1番	貴多正幸	2番	小西久次
3番	若井猛志	4番	森島芳男
5番	森山敏夫	6番	内山英作
7番	松浦博	8番	古株克彦
9番	菱田三男	10番	山田義明
11番	岡山富男	12番	小森重剛

3 会議に欠席した議員（なし）

4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	西田秀治	教育委員会教育長	甲津和寿
副町長	杼木栄司	総務主監	山添みゆき
住民福祉主監兼 発達支援課長	嶋林さちこ	産業建設主監	井口和人
主監心得兼 未来創造課長	奥浩市	会計管理者	西川良浩
総務課長	川嶋正明	税務課長	寺嶋要
生活安全課長	関司明德	住民課長	中寫幸作
福祉課長	森岡道友	健康推進課長	中原江理
農業振興課長	井口清幸	商工観光課長	心得岩田宏之
建設計画課長	森徳男	上下水道課長	込山佳寛
教育次長兼 教育総務課長	田邊正俊	学校教育課長	森幸一
生涯学習課長	竹内修		

5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	知禿雅仁	書記	奥智子
--------	------	----	-----

開議 午後1時00分

○議長（小森重剛） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、12人であります。よって、定足数に達していますので、これより、平成29年第2回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより、本日の会議を開きます。

皆さんのお手元に、株式会社みらいパーク竜王の事業報告、経営状況等を説明する書類を配付いたしましたので、御確認をお願いいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

それでは、これより議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第 1 議第 28号 平成29年度竜王町一般会計補正予算（第1号）**

**（総務産業建設常任委員会委員長報告）**

○議長（小森重剛） 日程第1 議第28号、竜王町一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） 議第28号、総務産業建設常任委員会報告。

平成29年6月22日

委員長 古株 克彦

去る6月12日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第28号「平成29年度竜王町一般会計補正予算（第1号）」について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、6月13日午前9時より第1委員会室において、委員全員出席のもと会議を開き、西田町長、山添総務主監、井口産業建設主監、川嶋総務課長及び関係課長等の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

「平成29年度竜王町一般会計補正予算（第1号）」は、当初予算に歳入歳出それぞれ4億672万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ59億9,272万4,000円に改めるものです。

主な質疑応答は、問）4億円余りの大型補正を組み、多額の起債により多くの負債を抱えることになるが、滋賀竜王工業団地等の企業誘致による法人税の収入

が見込まれるものの、当分、優遇税制により収入の見込みが低い中で返済はどのようにするのか。

答) 起債により借金する場合は大型事業、箱物、水道、道路などです。今の納税者からの税金で整理するものではなく、耐用年数があるので、後年度にわたって納税者に負担していただくものです。

もう一つの答えとして、答) 滋賀竜王工業団地に企業を誘致し、そこで新たな雇用を生み、また、その企業からの税収を得て賄っていきたい。そのための先行投資です。

問) 橋梁長寿命化修繕設計委託業務510万円を工事に回すということであるが、現在対象となる橋梁数と、幾つの橋が直せているのか。

答) 橋梁については5年に一度の点検を行っており、健全度は4ランクで評価しております。平成26年度に全117橋の定期点検を行い、15メートル以上のランク3の橋を優先的に修繕しています。現時点では、13橋の修繕を実施しました。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

**○議長（小森重剛）** ただいま、総務産業建設常任委員会委員長より審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

お諮りいたします。

日程第1、議第28号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（小森重剛）** 起立全員であります。よって、日程第1、議第28号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 2 議第 3 1 号 町道路線の認定について

(総務産業建設常任委員会委員長報告)

○議長(小森重剛) 日程第 2 議第 3 1 号、町道路線の認定についてを議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長(古株克彦) 議第 3 1 号、総務産業建設常任委員会報告

平成 29 年 6 月 22 日

委員長 古株 克彦

去る 6 月 12 日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第 3 1 号「町道路線の認定」について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、6 月 13 日午前 9 時より第 1 委員会室において、委員全員出席のもと会議を開き、西田町長、山添総務主監、井口産業建設主監、並びに関係課長等職員の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

「町道路線の認定」については、大字小口地区に町道小口不動尊線 910 メートルを町道の路線として認定するものです。

その理由は、滋賀竜王工業団地の造成工事がほぼ完了する中で、そこに 1 社が決定し、来年 3 月には工場が完成して操業開始するに備え、従業員用の集合住宅が喫緊の課題であり、今後工業団地内に入居する企業も同様の問題を抱えています。

また、従来から町内の工場に就業する若い人たちの希望する集合住宅の不足する課題もあり、民間の開発業者の協力を得て、集合住宅のゾーンを設定するに当たり、町道の認定をするものです。

以下は主な質疑応答です。

問) 開発道路が必要と説明を受けたが、アウトレットの信号の手前で町道小口八重谷線と接続する予定になっている。いつも混雑しているが対応できるのか。

答) 今回の道路は、薬師不動尊線を一部重用しています。

問) 松が丘団地の入り口が南側の 1 カ所であり、北側の出入り口と取付道路が必要だと以前から課題になっているが、接続はどのようにするのか。

答) 北側の道路は現在民地となっており、今後協議する中で進めていきたい。

委員会の主な意見として、執行部の回答の中で異なる回答が出る場面があったが、執行部内で意思統一して委員会に臨んでいただきたい。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

○議長（小森重剛） ただいま、総務産業建設常任委員会委員長より審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

お諮りいたします。

日程第2、議第31号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第2、議第31号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### **日程第 3 議会広報特別委員会委員長報告**

**○議長（小森重剛）** 日程第3 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、森山敏夫議員。

**○議会広報特別委員会委員長（森山敏夫）** 議会広報特別委員会報告。

平成29年6月22日

委員長 森山 敏夫

本委員会は、平成29年第1回定例会閉会後の3月30日、4月6日、13日、19日に委員会を開催し、議会だより179号の編集作業を行い、5月1日に発行しました。

また、本委員会は、本定例会中の6月12日午後2時から委員全員出席のもと委員会を開催し、議会だより180号について、掲載記事の概要検討と役割分担

を決定しました。

議会だより180号は、平成29年第2回定例会の内容を中心に、平成29年度補正予算、委員会活動報告、一般質問、追跡コーナー、議会報告会とアンケート結果、いきいき人生などで16ページにまとめ、平成29年8月1日に発行することになりました。

なお、編集のための委員会は、6月29日、7月5日、11日、18日に開催することを決定しました。

また、来る7月12日に、高知県越知町議会へ、議会広報の編集技術のレベルアップを図ることを目的に、視察研修を実施することに決定しました。併せて、石川県かほく市議会より議会広報編集に関する視察研修の申し入れがあり、8月3日に当委員会で受け入れることを決定しました。

次に、議会だよりに関するアンケート調査を5月1日から5日まで実施し、211名の方から回答をいただき、その集計と分析のため、5月29日午後1時、6月12日午後2時から委員会を開催し、集計結果を議会だより180号に掲載することとしました。

また、いただいた多くの貴重な御意見は、今後の広報紙づくりに反映させていくことを決定しました。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

○議長（小森重剛） ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、議会広報特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 4 地域活性化特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第4 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、岡山富男議員。

○地域活性化特別委員会委員長（岡山富男） 地域活性化特別委員会報告。

平成29年6月22日

委員長 岡山 富男

本委員会は、6月15日午後1時より、委員全員出席のもと、町執行部より西

田町長、杼木副町長、山添総務主監、井口産業建設主監及び関係課長等の出席を求め、所管事務調査を行いました。

滋賀竜王工業団地に係る進捗状況について。

滋賀竜王工業団地整備事業において、滋賀県土地開発公社等が実施する工業団地造成事業、また、これと連携し、竜王町が実施する国交付金事業のうち、土地の引き渡しに必要な工事については全て完了しました。引き続き、今年度中に工業団地整備事業の付帯工事が完成するとの説明がありました。

主な質疑応答。

問) 企業誘致の専門員は、どこにいるのか。

答) 公社の委託事業で、委託先は、半導体産業新聞の産業タイムズです。建設業にたけた1名の方が東京に常駐しています。

問) 工業団地の管理棟はどれぐらいの規模内容で、管理はどうされるのか。

答) 100平米程度の平屋建てで、事務室・会議室・倉庫・トイレを考えています。管理については、企業協議会を設けて管理します。

株式会社雪国まいたけについて。

山面地先の株式会社雪国まいたけの所有地の開発状況について、4月12日に都市計画法第29条による開発許可申請、5月31日に開発許可及び「滋賀県土地利用に関する指導要綱に基づく開発協定」の締結があったこと。

また、企業誘致の状況については、鋼材や物流の倉庫、機械やプラスチック製品の製造工場等が進出を検討されているとの説明がありました。

主な質疑応答。

問) 井戸を掘っているが、企業の進出に関係しているのか。

答) 株式会社雪国まいたけから工業団地内の専用水道の工事の届けが出ています。

住宅開発の進捗状況について。

町内の住宅候補地である小口市街化区域・須恵西川町有地・鶴川町有地・山之上地区・松陽台地区の5カ所が示され、その進捗状況及び諸課題等について説明がありました。

主な質疑応答。

問) 全体に工事費が住宅販売価格よりも高くなるため、町の支援なくしてはできないとの説明があったが、その支援は何か。

答) 施設を建てたときに、入居者を確保することができる支援とインフラ整備

等の支援もしていかなければなりません。

問) 新たに認定する小口地先の町道のインフラ整備は町がするのか。

答) 水道は、松が丘団地に水道管が入っていますので、整備については開発事業者が検討していると聞いていますので、町がインフラ整備することは考えていません。

問) 山之上地区の住宅について、以前、殿山線の道路拡幅設計をされたが、今後、どう進めるのか。

答) 開発事業者の見通しも考えながら、惣四郎川沿いの道路やインフラ整備も含め、全体かつ効果的な検討を進めていきます。

以上、地域活性化特別委員会報告とします。

○議長（小森重剛） ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、地域活性化特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第 5 人口減少対策特別委員会委員長報告

**○議長（小森重剛）** 日程第 5 人口減少対策特別委員会委員長報告を議題といたします。

人口減少対策特別委員会委員長、森島芳男議員。

**○人口減少対策特別委員会委員長（森島芳男）** 人口減少対策特別委員会報告。

平成29年6月22日

委員長 森島 芳男

本委員会は、去る4月21日午後1時から委員全員出席のもと会議を開き、「政策提言に向けた取り組みについて」を議題として調査研究を行いました。

5月10日午後1時から、委員全員出席のもと「政策提言作成のための意見提出」、また、「政策提言の項目確認」を行いました。

6月6日午後1時50分から、委員全員出席のもと「政策提言の素案について」協議を行いました。

6月15日午前9時から、委員全員出席のもと、町執行部より西田町長、甲津教育長、山添総務主監、田邊教育次長兼教育総務課長、嶋林住民福祉主監兼発達支援課長並びに関係課長等職員の出席を求め、「就学前教育・保育・子育ての支

援のあり方検討の進捗状況」について説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 親の養育力の低下ということで検討していただいているが、なぜ昔に比べて養育力が落ちてきたのか。

答) 昔は多世代で同居しており、子育ての仕方であるとか、家庭内で伝承が自然にできて、祖父母の方が子育てを助けてあげ、親だけが負担することが少なかった。今は、核家族化が進んでいる中で親だけが子育てしていることがあり、難しくなっている。

その説明の後、政策提言について、修正、追加する事項などの協議を行いました。

以上で人口減少対策特別委員会報告とします。

○議長（小森重剛） ただいまの人口減少対策特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言をお願いします。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、人口減少対策特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 6 所管事務調査報告

(議会運営委員会委員長報告)

(総務産業建設常任委員会委員長報告)

(教育民生常任委員会委員長報告)

○議長（小森重剛） 日程第6 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。

議会運営委員会委員長、菱田三男議員。

○議会運営委員会委員長（菱田三男） 議会運営委員会報告。

平成29年6月22日

委員長 菱田 三男

本委員会は、4月26日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、平成29年第2回定例会の日程について協議し、会期を6月6日から6月22日の17日間とする案を作成しました。また、議会報告会を、平成29年7月8日午後7時30分から9時まで竜王町公民館にて開催することを決定いたしました。

次に、本委員会は、5月29日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より西田町長、山添総務主監、川嶋総務課長、他担当職員の出席を求め、西田町長挨拶の後、平成29年第2回定例会の提出案件について説明を受けました。

今回提案される案件は、専決処分3件、条例制定1件、補正予算2件、土地処分1件、町道路認定1件、報告事項2件、計10件です。

次に、同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を6月6日から6月22日までの17日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。

次に、本委員会は、6月6日午前8時30分より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より西田町長、山添総務主監、川嶋総務課長、他担当職員の出席を求め、一般会計補正予算(第1号)について、取り下げの説明と改めて上程する案件について説明を受け、議案の処理について審査決定しました。

次に、本委員会は、6月8日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、一般質問、10議員16質問について会議の再開時間及び質問の順序等について決定しました。

第3日の会議は午前9時から再開し、会議は通しで行い、会議時間の延長もあり得ること及び質問の順序は質問通告書の提出順序とすることに決定しました。

続いて、議会報告会の詳細について協議しました。

次に、本委員会は、6月12日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より西田町長、山添総務主監、川嶋総務課長、他担当職員の出席を求め、平成29年第2回定例会追加提出案件について説明を受けました。

今回提案される追加案件は、人事案件15件です。議案の処理について審査決定しました。

以上、議会運営委員会報告といたします。

○議長（小森重剛） 次に、総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成29年6月22日

委員長 古株 克彦

本委員会は、閉会中の4月17日午前9時より、第1委員会室において委員全員の出席のもと、桴木副町長、山添総務主監、込山上下水道課長、他関係職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

所管事務調査。

竜王町水道事業ビジョンについて。

1、作成の背景、目的。この指標は全国数値のものです。

1つ、水道の普及率は、平成25年度末で97.7%。高度成長期に水道普及率は急激に上昇しているが、この資産の更新時期が全国的に到来している。

1つ、水道の水質基準適合率は高い水準、平成25年度で99.97%を維持している。

1つ、人口減少社会の到来により、有収水量は平成12年をピークに減少に転じ、約100年後にはピーク時の約30%にまで減少する。

1つ、水道管路は、法定耐用年数が40年であり、高度成長期に整備された施設の更新時期が来ているが、更新率は平成26年度の0.76%と進まない。全ての管路を更新するには、約130年かかると想定される。

1つ、水道施設の計画的な更新や耐震化による強靱な水道の構築が急務となっている。

1つ、竜王町も同様の問題を抱えており、計画期間を平成28年度から平成37年度までの10年間とし、水道事業ビジョンを作成しました。

2番、竜王町の水道事業における問題点。

水道事業は独立採算制がとられている中で、事業の維持が非常に厳しくなっている。

湖南用水（県水）から給水量の100%を受水しているのは竜王町だけである。

湖南用水の他の2市1町、近江八幡市・東近江市・日野町は、旧来の水源池を独自で持っているが、竜王町は県水に頼っている現状であり、今後、広域的な連携についての話し合いが必要である。

本委員会は、6月13日午前9時より、第1委員会室において委員全員の出席のもと、西田町長、山添総務主監、奥主監心得兼未来創造課長、凶司生活安全課長、他関係職員の出席を求め、付託案件の後、所管事務調査を行いました。

所管事務調査。

1、地域防災情報システムの整備及び有線放送の継承について。

(1) 竜王町有線放送農業協同組合の解散に伴う事業継承について。

①竜王町が事業譲渡を受ける資産の内容について説明を受ける。

②事業継承における町の考え方について以下のとおり説明を受ける。

1つ、災害時の緊急通報手段の確保を図ることを目的とする。

1つ、町が運用する放送事業において、使用料は徴収しない予定。

1つ、お知らせ放送を定期的実施する程度とし、番組制作は行わない。

③有線放送の解散（来年3月末）までの処理すべきことの説明を受ける。

主な質疑応答。

問）基金については町が譲渡を受け、保健センター付近の土地については、町が買収するということであるが、どこに支払うのか。

答）土地の費用については、有線放送に支払う。

（2）地域防災情報システムの整備について。

①住民への災害情報伝達手段の整備に係る国の流れについて。

東日本大震災の教訓から、また、災害の種別、気象条件によって、できるだけ複数の情報伝達手段を持つことが望ましい。

②竜王町における整備概要の検討事項。

1つ、システムの方式については、国の方向性、経済性、将来性からフルデジタル化がよい。

1つ、使用周波数については、防災行政無線60メガヘルツ帯のデジタル波に1本化する。

1つ、機能については、グループ別放送機能（ページング機能）の運用とJアラートやスマートフォン等のアプリやメールとの連携は必須事項である。

（3）整備費用の試算、フルデジタル化で4億3,700万円。

（4）財源については、緊急防災・減災事業債の活用。これは、平成32年度までです。

（5）整備・運用については、所有者・地権者への承諾や運用ルールの作成をします。

（6）今後の予定として。

①基本設計、これは、平成29年度後半、9月補正に計上します。

②実施設計は、平成30年度当初予算に計上します。

③屋外拡声子局、個別受信機設置に係る自治会・住民への周知、これは平成30年度後半に行います。

④整備工事については、平成31年度、32年度に実施予定であります。

主な質疑応答。

問) 地域防災情報システムの近隣市町の状況はどうか。

答) 東近江市、愛荘町はデジタル化が進められ、個別受信機の対応で手間取っている。県内では屋外拡声器でとどまっているところが多い。

問) 個別受信機で、ひとり暮らしの安否情報確認はできるのか。

答) システムを組む上でいろいろなオプションを考えることができる。事業自体が4億3,700万円もかかるので費用対効果を考えながら検討していく。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

○議長（小森重剛） 次に、教育民生常任委員会委員長、山田義明議員。

○教育民生常任委員会委員長（山田義明） 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成29年6月22日

委員長 山田 義明

本委員会は、去る5月25日から26日の2日間にわたり、委員全員出席のもと、地域への理解を深めながらの英語教育の実施や施設を含めた小中一貫教育の実施など、先進的な取り組みをされている広島県廿日市市立宮島中学校（宮島学園）と神戸市立港島学園を訪れ、当町における英語教育の向上と、国際社会に貢献できる人材育成、また、学校施設のあり方につなげていけるよう視察研修を行いました。

調査内容。

まず、宮島中学校では、9年間を通して児童生徒を育てるという視点を持ち、指導内容や指導方法の改善を図るとともに、小・中学校間の円滑な接続を図り、9年間の効率的な指導体制を確立するとの説明を受けました。

教育実施形態は、同じ敷地で校舎が隣接する小・中学校で、共通の学校教育目標及び目指す子ども像を設定されていました。

学校運営では、小・中学校が一体となり、校長1名、職員室の共有、節目の学校行事、入学式、運動会、文化祭、卒業式などの合同実施をされていました。

生徒指導では、9年間を通して、持続可能な未来や社会づくりのために行動できる人の育成を目的とした教育（ESD）を進められていた。この中で郷土愛の醸成や「伝える力」を高められ、宮島の歴史や文化などを学び、小学6年生は日本語で国内の提携校に、中学3年生は英語で外国人に宮島のガイドを行い、生徒のコミュニケーション能力向上に努められていました。

当日は、中学3年生が宮島ボランティアガイドをされていた様子を視察しまし

た。宮島は、厳島神社が世界遺産に登録されていて、10年程前から観光客が年々増加し、平日にもかかわらず、日本人はもとより外国人の多いことにまずは驚きました。

ガイドポイントは6カ所、2名の生徒でペアを組み、宮島中学校の名前が入ったハッピを着用して「Guiding NOW」の札を持ち、生徒が作成したオリジナル英文パンフレットを外国人観光客に配布し、各ポイントでの応答用のガイドパターン解説書も活用し対応していました。外国人との堂々とした対応に、9年間における学業の成果が映りました。

これらの活動により、外国人とコミュニケーションを望む生徒の割合が90%と向上し、この活動がマスコミに取り上げられ、宮島の知名度向上にも貢献していました。

次に、港島学園は、昭和55年に神戸ポートアイランドに港島小学校と港島中学校が隣接して開校し、平成21年に小中連携モデル地区となり、平成22年に初めての小中連携教育による小中合同運動会が開催されました。

平成23年から25年に小中一貫カリキュラム教科（英語）拠点地区推進校の指定、平成26年、27年には小中一貫モデル校の指定を受け、小中一貫カリキュラム教科（算数・数学）拠点地区推進校の指定となり、平成28年には、保護者からの強い要望もあり、神戸市立義務教育学校港島学園として開校となりました。

小中一貫教育の特色ある取り組みとして、5年生からの部活動交流では、上級生と下級生がかかわり合い、楽しめる活動として5ないし6年生の希望者が週1、2回中学校の部活動に参加。児童会活動・生徒会活動を通じた児童生徒の主体的な活動として、6から9年生の小中合同リーダー研修や4年生から9年生の小中合同応援団が運動会で披露されています。

小中一貫教育が制度化されることにより、教育課程の特例として、例えば英語科など小中一貫教育の軸となる独自教科を、設置者の判断で設定することができます。また、小学校指導内容の中学校への先送り、中学校指導内容の小学校への前倒しが可能となるなど、特典を活かした教育内容の充実が行われています。

港島学園では、一般の小中分離校で発生する中1ギャップや小中一貫教育で起こり得る高1ギャップの発生もしていないとのことでした。

視察研修での委員からの感想等について。

「宮島中学校の観光ボランティアガイド活動をされている姿を見ていると、英

語会話の実践で精神的にも向上が図れ、自信をもって楽しく会話している姿に感激した。このことから本町の中学校修学旅行で、ふるさとPRの「名刺」をつくり、旅行先で配布宣伝されたが、同時に英語での宣伝活動ができる取り組みをされると、英語力の向上が期待できると思う。」

「宮島学園では、9年間を通してユネスコ・スクールの実践の場としてESDに取り組んでいる。このような取り組みができるのも、世界遺産・地域遺産、外国人観光客、環境、文化・伝統など恵まれた地域資源があるからで、これらの資源とESDをうまく取り入れ、地域の将来を多面的・総合的に考えさせる指導をされているのはすばらしかった。」

本委員会は、6月14日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと、執行部より西田町長、甲津教育長、山添総務主監、嶋林住民福祉主監兼発達支援課長、田邊教育次長兼教育総務課長、他担当職員の出席を求め所管事務調査を行いました。

所管事務調査。

まず、幼稚園の英語教育について。

今年度から町内幼稚園において外国人講師を招聘し、年間10回程度の英語体験活動を取り入れることで、英語や外国の文化に慣れ親しむ機会を設け、小学校1年生からの外国語活動への素地を培いました。

内容は、歌、ゲーム、絵本の読み聞かせや身体を使つての英語体験などを行います。

主な質疑応答。

問) 指導要領が変わったということだけで、幼稚園において英語教育をする必要があるのか。

答) 幼稚園では学びの基礎、根気強さ、注意深さを学ぶことで、将来の意欲につながり、小学校の英語教育の素地となります。

預かり保育について。

今年度より町立幼稚園で4、5歳児に加え、3歳児も預かり保育が制度化されました。預かり保育の時間は午後4時から30分延長し、午後4時30分としました。このため、預かり保育料は、国の基準を踏まえて、3歳児は月8,000円、4歳児、5歳児は月5,400円となります。

現在、通年利用人数は、両方の幼稚園を合わせて65名が利用されています。うち、3歳児の利用は16名でした。

主な質疑応答。

問) クラス担任と預かり保育担当教諭との連携はどのようにされているのか。

答) 保育の連携は、毎朝、職員会議で情報共有し、3歳児には手がかかるため、午前中の保育の様子を把握しながら預かり保育の対応を行っています。4歳児、5歳児については臨機応変に連携しながら対応しています。

主な意見。

幼保の窓口一体化は、今後も継続してほしい。なお、今後の進め方は、竜王町の子どもを育てることから幼保一体化、認定子ども園について検討してもらいたい。

次に、公民館活動について。

公民館事業については、公民館基本計画を踏まえた教室や講座の充実、文化芸術活動の奨励や振興、学校支援地域本部事業と公民館の連携による地域づくりや人材育成をもとに次の事業をしています。

公民館講座開設事業のドラゴンカレッジでは、木彫り・折り紙・つるし飾り講座園芸教室が開催されていて、新規のつるし飾り講座は多数の申し込みがあり、2回に分け開催されます。文化協会との共催では、今年度新規のちぎり絵・冠句講座を開設します。また、写真講座、野外活動講座も予定されている。漢字検定試験は今年度も行われ、この6月3日には50名が受けられ、今後2回予定されています。

地域子ども教室推進事業のドラゴンキッズクラブでは、和太鼓、書道、チャレンジ、サイエンス、料理などのクラブや吹奏楽が行われています。また、夏・春・冬休みにはキッズスクールが開催され、年間23日の開催で子どもたちの学力を高めます。

学校支援地域本部ではボランティアの募集、支援内容の把握や学習支援、環境整備。行事支援が行われています。

その他青年学級開設事業などの説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 野外活動の状況について教えてほしい。

答) 野外活動では、キャンプ指導、自然指導ができる人材がないことが課題となっています。指導者研修を実施しながら、人材の育成を行っていきたい。

問) ドラゴンカレッジについて、地域への広がりやをどう考えているのか。また、ドラゴンカレッジ終了後、その方がどのような活動をされているのか。

答) 各字や町の文化祭への制作物の出展や、町内の各所において展示活動をされ、活躍されています。また、観光ボランティアとしても活動されています。

次に、図書館活動について。

図書館事業については、第2期図書館基本計画に基づき、「地域に開かれ親しまれる図書館」を目指し、図書館活動の充実を図っています。

利用状況については、町民1人当たり年間貸出冊数は、平成27年度、28年度ともに11.1冊となっていて、この個人貸出冊数は、「図書館年鑑2016」では、人口1万5,000人未満の町村95自治体図書館中2位と、全国の中でも屈指の利用があるものの、ここ数年横ばい状態となっています。

本や図書館に親しんでもらう活動として、行事開催や定期的なおはなし会、園への出前おはなし会、小学校へ出向いてのブックトークやおはなし会を行っている。また、小学校の昼休み時間を利用した出前個人貸し出しに加え、新たに、竜王中学校、竜王幼稚園へ每学期1回の出前個人貸し出しも始めた。

乳幼児を持つ親への働きかけや、子どもと本を結びつける活動、学校との連携、学校図書館支援、高齢者等に対する大きな活字の本、朗読CDの充実と利用への働きかけを行っています。

展示コーナーや特集コーナーでは、各種団体の作品展や事業の関連展示、また、児童や一般向けにテーマに沿って資料展示や読書啓発に努めた。

視聴覚ライブラリーの運営では、企業、自治会等への人権学習等に活用する教材の貸し出しも行っています。

主な質疑応答。

問) 図書館ボランティアは何名か。

答) 図書館で活動されているボランティアは6名です。その他読み聞かせボランティアや図書貸し出しボランティアがおられ、重複もありますが50名程度います。

以上、教育民生常任委員会所管事務調査報告といたします。

○議長(小森重剛) ただいま、各常任委員会委員長よりそれぞれ報告がございました。

この際、一括して委員長報告に対しての質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長(小森重剛) ないようでありますので、各常任委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第7 議員派遣について

○議長（小森重剛） 日程第7 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。会議規則第126条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思っております。なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定いたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） 御異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いたしました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長まで報告していただくようお願いいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第8 委員会の閉会中の継続調査の申出について

○議長（小森重剛） 日程第8 委員会の閉会中の継続調査の申出についてを議題といたします。

各委員長から、会議規則第75条の規定によって、お手元に配付いたしましたとおり、閉会中の所管事務等の継続調査の申し出があります。

お諮りいたします。各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） 御異議なしと認めます。よって、本件は各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。

西田町長。

○町長（西田秀治） 平成29年第2回竜王町議会定例会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位には、去る6月6日から本日までの17日間にわたりまして、慎重なる御審議を賜り、提案させていただきました議案のうち22件の議案につきまして、可決、御承認をいただきましたことに厚く御礼を申し上げる次第でございます。

また、各委員会の場合や一般質問におきまして、議員各位からいただきました御意見、御指摘等につきましては、その対応に十分留意して今後の町政運営に当たってまいり所存でございますので、今後とも格段の御指導、御鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、6月24日で、町長に就任させていただき1年が経過することとなります。この間、私自身新たな領域での業務でございまして、新鮮な気持ちと併せて、常日ごろから緊張感を持ちつつ、果たすべき職務の遂行に努めさせていただきました。「あっという間の1年」であったようにも思っております。

この1年が経過する節目に際しまして、改めまして町民皆様と約束をいたしました、安心と安全を確保する、そして、「次世代に誇れる町づくり」、「明るく元気で活力あふれる強い町づくり」、「新風を吹き込む」等の実現に向け、施策を着実に推進すべく決意を新たにしているところでございます。

今定例会でお認めいただいた補正予算は、町が推進すべき重点プロジェクトの中でも、喫緊に対応が求められている人口増に向けた住宅地確保対策、企業誘致推進のためのインフラ整備等でございます。これらについては、一日も早く目的達成のために、予算執行しながら、また、さまざまな御意見を頂戴いたしました公共施設等総合管理計画との整合性を念頭に、各課題に果敢に取り組み、町づくりを進めたいと考えております。

議員の皆様におかれましては、特段のお力添えをお願い申し上げます次第でございます。

結びに、間もなく7月、梅雨明けとともに夏本番を迎えますが、議員の皆様におかれましては、健康にくれぐれも御留意いただき、引き続き本町の発展のために御活躍いただきますよう御祈念申し上げます、閉会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。

まことにありがとうございました。

**○議長（小森重剛）** 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る6月6日に招集され、本日までの17日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、御多用の中、連日にわたり御出席賜り、提案されました重要な案件について、慎重なる御審議をいただき、大変御苦労さまでございました。

また、執行部におかれましては、この間、適切なる対応をしていただきありがとうございました。

議員各位、並びに執行部各位の御協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

本会議、並びに委員会において、各議員が述べられました意見や要望事項につきましては、特に考慮され、執行の上で十分反映されますようお願いする次第でございます。

さて、小口地先町有地の売却後の土地の利活用と、その土地売却収入の効果的な活用により本町が前進することを望むとともに、定住促進に向けた住宅及び企業立地への各種整備がおくれることなく順調に進み、その結果が、来年に稼働される企業をはじめ、今後の企業誘致の魅力ある支援となることを期待するものです。

また、昨年度から繰り越しされている事業についても、完了と成果が出るように実施され、より一層の安心安全なまちづくりを進めていただくことを望むものです。

先の課税誤りの事象を教訓に、職員におかれましては、各業務作業について業務マニュアルを自分のものとし精査いただくとともに、その積み重ねがよりよい業務マニュアルへ、また住民サービス向上につながることを願うものです。特に4月の人事異動が弊害となることのないよう努めていただきたい。今後は、異動もありきの中で長期業務に携わる専門職員を育成することも、町にとっては大事な時期に来たと考えます。

町内におきましては、いよいよ計画されています各種事業が動き出します。7月には、総合体育大会、文月発表会、平和祈念式典が、8月には、ふるさと竜王夏まつり、お盆が、9月には、総合防災訓練、学校園の運動会などが盛大に開催される予定です。

このような催しに、子ども、若者、現役世代、高齢者が一堂に集い交流する中で、竜王町の魅力を再認識していただき、ずっと竜王町に住みたい、帰ってきたい熱い思いが持ってもらえることを願うものであります。

梅雨本番から、いよいよ本格的な夏を迎えることとなります。議員各位、並びに執行部におかれましては、くれぐれもお体に御自愛いただき、町政の振興発展のために、一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げ、閉会に当たっての御挨拶といたします。

以上をもちまして、平成29年第2回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦労さまでございました。

閉会 午後2時16分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 小 森 重 剛

議会議員 岡 山 富 男

議会議員 貴 多 正 幸